

職員の皆さんへ 新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

今年の正月は家族とゆっくり過ごされた方も多かったと思います。決められた時間に追われて仕事に取り組む、あるいは、時間を気にせずのんびり時を過ごす。このメリハリが大切だと思います。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症対策のために、突然降ってわいた仕事に慌ただしく取り組むことになったり、事業の中止、延期、見直しを余儀なくされたり、大変な一年でした。そんな中で、職員の皆さんが、自覚と責任をもって、やるべきことを自ら進んで実行してくださったことに改めてお礼を申し上げたいと思います。

皆さんの仕事ぶりを見ていて最近気づいたことがあります。一つは、指示待ちではなく、各部署で能動的に課題を発掘し手段を考え、仕事に取り組むようになったこと。「コロナ川柳」や「東うらうら体操 PR 動画」や「骨をつくるおいしいレシピコンテスト」はその一例です。効果を評価する必要はありますが、まずアイデアを練ってやってみる、その姿勢が大事です。新しいアイデアを第三者にわかってもらうのは大変なことですが、自分だけで悩まずに周りを巻き込むことも必要です。お役に立つのなら私も利用させていただいて結構です。ただし、ちゃんと理解するまで説明してください。

二つ目は、課の垣根を越えて話し合う光景を目にするようになったことです。以前も、他課のやっていることに無関心ではいけないと申し上げたことがあります。互いに関連する仕事はたくさんあるし、複数の部や課が協力・連携し合うことでより高い効果を上げることができます。

三つめは、女性の活躍が目立ってきたことです。新たな企画や民間企業との協働を進めたり、また、政策的な判断に関わったりすることにも女性が積極的な役割を果たしています。これは、「女性が」というわけではなく、すべての職員が、自分自身や組織の可能性を信じて、前向きに仕事をしていることの表れだと思っています。

仕事をするうえで、壁や困難にぶつかることも多いと思います。とにかく一人で悩まず、周りに相談すること。周りは話をじっくり聴いて、できる方法を一緒になって考えてあげること。上司は部下が成長への第一歩を踏み出せるように背中を押してあげること。

最初からあきらめていては何事も成せません。やればできる、やってみなはれの精神で仕事に前向きに取り組みたいと思います。

今年一年よろしくお祈りします。

令和3年1月4日 東浦町長 神谷明彦